



平成 17年 11月16日

各 位

株式会社 ヨロズ

横浜市港北区樽町三丁目 7番 60号
代表取締役社長 志藤 昭彦
(コード番号 7294 東証 市場第一部)
問合せ先 取締役管理部長 河原 清
(TEL.045-543-6802)

平成 18年 3月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月19日決算発表時に公表した平成18年3月期 中間期 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)の業績予想を下表の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期 中間業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17年5月19日 発表)	21,200	750	350
今回修正予想(B)	22,116	1,074	654
増減額(B - A)	916	324	304
増減率	4.3	43.2	86.9
前中間期実績	19,234	1,243	735

2. 平成18年3月期 中間連結業績予想数値の修正 (平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17年5月19日 発表)	47,100	1,080	570
今回修正予想(B)	48,848	1,269	1,177
増減額(B - A)	1,748	189	607
増減率	3.7	17.5	106.5
前中間期実績	41,374	2,092	1,249

3. 修正の理由

当期の単独業績は、売上高が前回予想を上回ったことに加え、グループを挙げて推進中の「ヨロズサクセスプラン(YSP)」の原価低減目標を過達したこと等により、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見込みであります。

連結業績につきましては、連結売上高が為替影響等により前回予想を上回る見込みであります。利益面でも、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回りますが、特に当期純利益は、北米における最大拠点であるヨロズオートモーティブテネシー(YAT)が3期連続黒字になることが確実になったことから本中間期より繰延税金資産の計上が認められたため、税額の調整により増益となったものであります。

なお、通期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想につきましては、中間決算発表時に見直す予定であります。

以上